

# 宮島工業株式会社

## 事務用ファイルや バインダー金具を一貫生産

- 納期相談
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 量産対応



プレス、組立などの製造現場

主な事業内容	主な取引先(納入先)	主な製品
金属プレス加工、組立	文具メーカー	ファイル綴じ具(チューブファイルなど)、事務用デスク部品

### 業務内容 廉価版製品を提案し 取引先が採用

宮島工業は、事務用ファイルやバインダーの金具を大手文具メーカー向けに製造する。チューブファイルと呼ばれる金属の細い管を利用して書類を綴じるタイプの金具をメインに生産している。また、これまでの知識や経験を集約して廉価版金具を独自に開発。取引先に採用され、これも主力製品となっている。

昭和23年に創業し、昭和35年に法人化した。プレス加工のみならず、材料の仕入れから金型製作、部品加工、めっき加工、組立、検品・箱詰めまでの一貫生産を行っている。このように幅広い知識と経験があることで「トータルでの対応が可能」と宮島眞人社長は強調する。

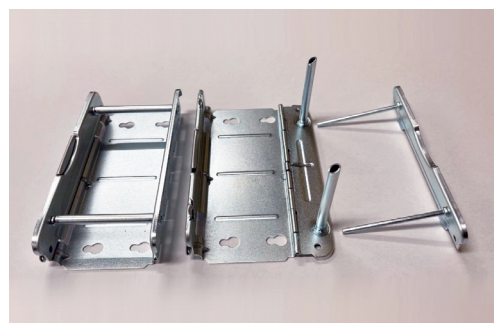
### 強み プレス機を連動させ 複雑形状の製品を生産

主に量産品を手がけており、生産数量によっては機械メーカーと専用組立機を共同開発し、さらなる効率化・コストダウンが可能である。プレス加工は、冷間・熱間圧延鋼板の板厚0.2〜1.6mmの薄板を中心に対応し、順送プレスラインや、ロボット搬送による連続生産が可能なRYライン、単発

プレスなど、多数のプレス機を保有。製品の形状や数量などに合わせて最適な加工方法を選択している。なかでも珍しい設備がRYラインで、110t×2台、80t×2台、60t×4台の計8台のプレス機を連動させることで複雑な形状の製品でも効率よく生産できる。「加工できる製品に制約はあるが、うまくマッチすれば効果は絶大」と宮島社長はRYラインの特徴をこう説明する。

### 品質管理 自社での金型製作や 寸法確認で品質向上

ほかにもCAD/CAMやワイヤ放電加工機、研磨機、フライス盤などの設備を揃え、金型製作およびメンテナンスは自社で行う。さらには、硬度測定器(HV)を導入し、材料硬度に由来する製品精度のばらつきを低減。加工対象について画像寸法測定器を用いて、ノギスなどでは計測困難な箇所も測定するなど品質管理も徹底している。「事務用ファイルの枠に捉われず、様々な商品や加工方法に挑戦したい」と話す宮島社長。自社ブランド品の開発にも取り組んでおり、これらを通じてより一層社会に役立つ会社になりたいと先を見すえている。



ファイル用金具の試作品



8台連動して稼働するロボットライン

### 社長あいさつ



代表取締役社長  
宮島 眞人さん

“常と変”を社是とし、社会の役に立つ会社をめざしています。ミクロな社会として、私も含む全従業員がお互いの業務の役に立つことから取り組み、これにより品質、納期、コストの改善を図り、結果、マクロな社会の役に立てるのだと信じて日々精進しています。

### 主な保有設備

- 順送プレス機 NS2-2000ほか  
アイダエンジニアリング製ほか 11台
- RYサーボロボットラインPUX110ほか  
アマダプレスシステム製ほか 2ライン
- ワイヤ放電加工機 MV2400Rほか  
三菱電機製 2台
- 画像寸法測定器 IM-8000ほか  
キーエンス製 2台
- 微小硬さ試験機(硬度計) HM-103  
ミツトヨ製 1台

大阪 05

住 所 / 〒581-0866  
八尾市  
東山本新町8-2-3  
T E L / 072-922-3334  
F A X / 072-992-1986  
創 業 / 昭和23年5月  
設 立 / 昭和35年2月  
資本金 / 1,000万円  
従業員 / 38名



<https://miyajima-kk.co.jp/>